

平成23年度「江別市生涯学習推進協議会」会員活動発表会・交流会

11月5日の土曜日、降りしきる雨というコンディションの中、百名を超える参加者を迎えて、会員活動発表会&交流会が市民会館小ホールで開催されました。

恒例となっている澤口副会長の名(迷?)調子によって、開会から大爆笑の渦に包まれる予定でしたが、どうしてもキャンセルできない用事のため、私こと事務局の伊藤が、急遽、司会を務めることになりました。

会は、谷川会長の挨拶で幕を開けましたが、伊藤の話術では力不足で、まずは、緊張感が漂う時間が過ぎていきます。

それはそれで、「江別保健所管内栄養士会」、「江別認知症の人の家族を支える会」、「江別家庭生活力ワンセラグループ」の方々によるスピーチや活動紹介、更に、沢山の肩書を持つがゆえに幾度も登場することとなる、広報委員長こと「おはなしなあに」の松山さんによる絵本の朗読などに、皆、かたずを飲んで、聞き入っておりまして。

前半戦のフィナーレでは、3B体操江別サークルがストレッチを参加者全員で行い、体だけ



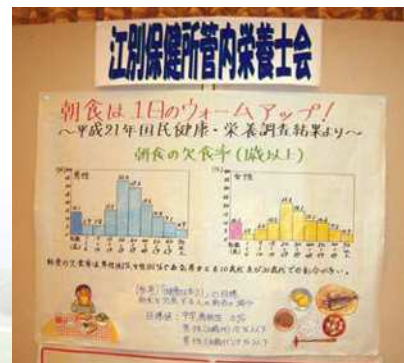
でなく会場全体の雰囲気も和らげてくれました。

次は、初の試みとなる展示紹介のコーナーです。展示のみの参加とはいえ、マイクを向けると、皆、団体PRに余念がなく、活動への意気込みが伝わってきました。

この頃になると、和気あいあい度も高まり、飲食物販売のため出店してもらっていた、「カフェ笑くぼ」のブースにも人が並びようになり、多少なりとも胸をなで下していました。

後半戦は、「江別市芸能赤十字奉仕団」の日本伝統に耳を傾け、子ども文化ネットワーク「江別」によるカエルの工作で盛り上がり、ブランドフィナーレ「江別まつことええ&北海道情報大学」によるYOSAKOIの大迫力で大団円を迎えました。

三井副会長の挨拶で全てのプログラムが終了した訳ですが、とある参加者の言葉が今年の会を象徴していたのではないのでしょうか。「今までで、一番、素晴らしかった!」



平成23年度 生きがいづくり生涯学習推進事業

「人生を共に豊かに過ごすために」

「子どもの成長を支えるボランティアのすすめ」に参加して

「UDが生み出す柔&強な社会」誰かのことを考えてモノをつくるう!!」という演題で講演を始めたのは、北海道文化放送で「石井ちゃんとおゆ〜」のリポーター石井雅子氏とディレクターの山田もと子氏の2人。

場所は大麻公民館研修室2号にて、国際化、高齢化、社会の変化に対応し、生涯にわたって生きがいのある人生をおくるために「生きることはまなぶこと」の視点から、市内外の方々に学習の機会を提供するという趣旨のもと、財団法人北海道生涯学習協会と江別市教育委員会の主催により、去る平成23年10月29日(土)13時から17時まで講演とワークショップが行われました。

TVで、ユニバーサルデザイン(UD)について、学生や障害のある方々と走り回っている「石井ちゃん」のイメージが強かったのですが、色々な障害に対応するボランティアのあり方を具体的な事例を交えながらわかりやすく話す「石井ちゃん」はTVで見ると素敵な笑顔でした。「色弱」の方の日常生活に潜む「不便」は、いわれて気がつく不便であり解決にはほんの少

第40回 江別消費者大会を終えて

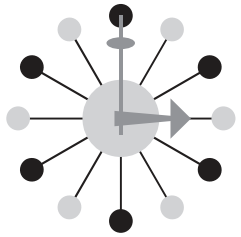
紅葉の美しい、10月27日野幌公民館で、第40回江別消費者大会が開催されました。

今年のテーマ「明日につなげよう！安全・安心」と掲げ、社長より、消費者目線に立った消費者庁になっていただきたいと、開会の挨拶があり、加納経済部長からは、原発、経済不安など不透明な時代だが、今日の講演が消費生活の参考になればと、来賓挨拶がありました。

基調講演は、弁護士道の尻豊氏により「高齢者の消費者被害〜最近の手口を知ろう〜」と題して、悪質業者は、高齢者の3つの不安(金・健康・孤独)をあおり、つけ込んで高齢者の財産を狙っている。

もし悪質商法に引っかかったら、素人判断せずに、すぐに消費生活相談窓口相談しましょうと締めくくりました。

江別消費者協会
事務局 平山 洋子



こんにちは！

北翔大学生涯学習システム学部 芸術メディア学科音楽コース

平成24年1月15日(日)の14時〜16時40分に、北方圏学術情報センター・ポルトホール(札幌市中央区南1条西22丁目、地下鉄東西線「西18丁目」駅1番出口から徒歩5分)に於きまして、『北翔大学芸術メディア学科ピアノゼミ』による「第6回新春コンサート2012 in PORTO」を開催いたします。

このたびの公演も、クラシックやポピュラー、ジャズなどのジャンルを問わない音楽を、親しみを持って聴きいただける内容にいたしました。入場無料ですので、どうぞ、お気軽にお誘いあわせの上、ご来場ください。



『』を開催いたします。これまで、江別市えほあホールで開催してまいりましたが、今回初めて本学の施設であるポルトホールでの開催となりました。この演奏会は、北方圏学術情報センター音楽教育研究プロジェクトとの共催事業でもあります。新年を迎えた喜びを、芸術メディア学科音楽コース・ピアノゼミの学生が、若さあふれるフレッシュな演奏を通して地域の皆様と共有したいの思いから企画いたしました。同時に、大学開放の場として、日頃の学習や練習の成果を発表する場でもあります。地元根付いたコンサートを目指し、

えべつイベント

●スノーフェスティバル

2月11日(土) 12日(日)
向ヶ丘特設会場

●江別演劇鑑賞会

◎音楽座「シャボン玉とんだ宇宙までとんだ」
2月23日(木)開演18時30分
江別市民会館 大ホール

●(財)江別市スポーツ振興財団

◎第19回マスターズスポーツバドミントン大会
1月22日(日) 10時～12時
東野幌体育館
12月14日～26日申込受付
参加料：700円
各種目定員：50名

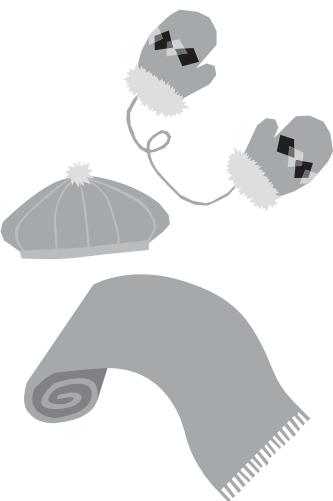
◎第23回マスターズスポーツ卓球大会
1月29日(日) 10時～12時
市民体育館

◎第27回原始林クロスカントリースキー大会
2月5日(日) 8時30分～13時
道立野幌総合運動公園硬式野球場
11月10日～1月6日申込受付
XCS参加料：高校生以上2,800円、小中学生1,800円
歩く参加料：高校生以上2,300円、中学生以下1,300円
定員なし

◎第38回春の水泳記録会
2月26日(日) 9時～15時
青年センタープール
1月21日～30日申込受付
参加料：1種目300円
定員なし

●生涯学習インストラクターの会

◎「子育て支援 親子で遊ぼうヒントがいっぱい」
1月28日(土) 13時30～
野幌公民館
詳細はチラシ、ポスターで

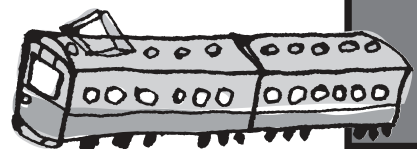


(広報委員 渡並康子)
結局はあまりの人氣に時間を延長して、最終人数は千九百人余となり、新しい野幌駅舎への期待の大きさを感じた日であった。

関心の深さがうかがえる。
受付には10時頃着いたが、そのときすでに七百名ほどになっていたという。にわか作りの展望台から見ると周りの風景はやはり新鮮。大勢の人たちと感動を共にできるとても貴重な体験だった。

野幌駅高架記念ウォークが9月17日に実施され参加した。
待ちに待ったこの日、こんなチャンスは二度とない。興奮と感動で胸がときめく。小雨模様にもかかわらず早朝から老若男女、実にさまざまなたちがどっと押しかけて市民の関心の深さがうかがえる。
受付には10時頃着いたが、そのときすでに七百名ほどになっていたという。にわか作りの展望台から見ると周りの風景はやはり新鮮。大勢の人たちと感動を共にできるとても貴重な体験だった。

野幌駅
高架記念ウォーク



野幌商店街振興組合 クリスマスディスプレイ

平成17年から各店が窓の装飾を競うクリスマスディスプレイを12月10日から12月25日まで実施し各店でクリスマスの飾り付けをおこないます。

来街者が各店の人気投票を行なって優秀賞を表彰すると共に、投票者には抽選で景品を贈呈して参加店をPRしてます。

年末の商店街の雰囲気明るくし、歩いて楽しく又、癒しの場として、喜ばれています。



野幌新駅舎、探究してきました。 広報委員 西懸昭子

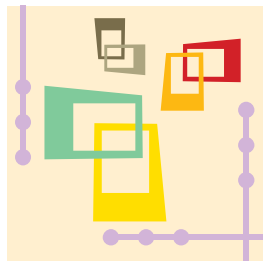
待ちに待った野幌新駅舎が、秋深まる10月23日、計画から完成まで4年の月日を要して開業致しました。開業当日はイベント等が催され、大勢の方々が駅を訪ねたようです。数日後の昼下がり初めて新駅舎探究に伺



いましたところ、突然の取材にも関わらず山川駅長さんが親切に案内して下さいました。

駅舎の中に足を踏み入れると、赤の壁が飛び込んできます。これは、市の花である「ななかまど」をイメージしたとのこと、ホームの柱などアクセントにもなっていて躍動感が生まれる感じがしました。

広々とした1階待合室には、ばかりばかりと天井からいくつも吊下げられている淡い明かりを灯す照明が「待つ心」をそっと和ませてくれました。



2階がホームになったこのことで階段が多く感じるのは、私だけでしょうか？このたび初めて設置されたエスカレーターは、お出かけになる方の強い味方になること間違いありません。

駅舎のバリアフリー化は充実していて、乗降しやすい設計の工

レバーターでそこから乗客の波にのまれることなくホームへ向かうのに区分されたスペースが設けられています。またトイレはひろく、車椅子でも楽々利用ができます。授乳スペースやオストメイト対応など便利に使われるように考慮されていました。

高架走行距離は1.5kmですが、継ぎ目のない線路を使用しているので「ガタンゴットン」という震動がなく快適で、列車が登っていく感じは爽快でした。「ひかりの駅」の名の通り南口ホームには大きな窓があり閉鎖的な駅の居心地を、より自由な明るさにする上に展望台の役割を果たし、そこから一人一人の「生きがいを感じて暮らす姿」が見えてきました。

これからこの場所が活動の拠点となるのが楽しみです。



★三三手話★



《あしがき》

「冬」がはじまるよ」と横原...が歌っています。大根を干して漬けてタイヤを取り替えて...冬の前は忙しいですね。自分の体調管理は大丈夫ですか？風邪に気をつけてよいお年をお迎えください。無事これ名馬なり...何も無いことが幸せな日常...ですね。

(松山和子)